

## 総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 令和2年4月24日 午後 2時20分
- 2 閉 会 令和2年4月24日 午後 3時35分
- 3 場 所 総社市総合福祉センター2階 教養研修室
- 4 出席又は欠席した委員  
出席委員  
教育長 山 中 榮 輔  
教育長職務代理者 林 直 人  
委 員 三 宅 眞砂子  
委 員 上 岡 仁  
委 員 児 島 塊太郎  
委 員 小鍛治 一 圭
- 5 会議に出席した者  
次期教育長 久 山 延 司  
教育部長 服 部 浩 二  
教育総務課課長 浅 野 竜 治  
学校教育課長 井 上 徹  
こども夢づくり課長 小 野 玲 子  
教育総務課主幹 前 田 英 子
- 6 会議録署名委員  
山 中 榮 輔 林 直 人
- 7 付議事件  
承認第 2号 総社市公民館運営規則の一部を改正する規則について
- 8 議事の概要 別紙のとおり

原案可決

【開会 午後2時20分】

**山中教育長** ただ今から教育委員会を開会いたします。この教育委員会には、承認1件が付議されております。では、まず、会議録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議録16条の規定により私のほか、出席委員中、林委員にお願いいたします。

では、承認第2号「総社市公民館運営規則の一部を改正する規則」について事務局から説明願います。

**浅野教育総務課長** それでは、承認第2号「総社市公民館運営規則の一部を改正する規則」について説明申し上げます。この規則につきましても、総社市公民館条例第6条の規定に基づきまして、運営にあたっての開館時間ですとか休館日、職員の配置、職員の職務内容等の必要な事項を定めているものでございます。この度の改正は、令和2年4月1日から分館長及び分館主事の職種が非常勤職員から会計年度任用職員に移行となり、本規則中の任期に関する事項に改正する必要性が生じ、一部改正をしたため承認を求めようとするものでございます。改正の内容でございますが、1枚お開きいただきまして、改正前後表をご覧くださいと思います。会計年度任用職員は1会計年度の任期となることから、右側改正前の下線が引かれた方の任期が2年でございますので、削るよう改めようとするものでございます。以上でございます。

**山中教育長** よろしいでしょうか。

**上岡委員** 非常勤職員になるということですね。

**浅野教育総務課長** はい。非常勤職員だったものが会計年度任用職員に移行したということでございます。

**上岡委員** 2年が1年になったということですか。

**浅野教育総務課長** 2年という任期は会計年度任用職員上、あり得ないということで、1会計年度で1年間となりますので削るという改正でございます。

**山中教育長** よろしいでしょうか。

(質疑なし)

**山中教育長** それでは、ご異議がないようですので承認第2号については承認されました。私の方からは報告事項はありませんので、保育所入所状況・今後の見通しについてお願いします。

**小野子ども夢づくり課長** 報告事項で、保育所入所状況・今後の見通しについてご説明いたします。資料をご覧ください。初めの表ですけれども、令和2年4月1日現在の保育所等への入所状況を表したものでございます。年齢別に左から入所児童数・待機児童数・待機児童とならない保育所限定の数を表しております。一番下の合計欄をご覧ください。令和2年4月1日現在で入所児童は1,626人でございます。国の定義に基づく待機児童は0人を達成いたしましたけれども、待機児童にカウントしない保育所限定の児童は101人となっております。前年よりも15人増えています。

次の2でございます。今後の見通しですが、①のグラフは各年度の4月と年度末の入所希

望児童数、それから就園率の推移を表したものです。入所希望数を棒グラフで示しております。青色の棒グラフが4月の時点、赤が年度末です。それから児童人口に対する入所児童数の割合でございます就園率の推移は折れ線グラフで示しています。黄色の折れ線グラフが4月で、青が年度末です。見ていただきますと入所希望数と就園率は年々増加の一途をたどっています。グラフのすぐ下の表ですけれども、令和2年の見込のところを見てください。令和2年度末の入所希望見込数は人口推計を基に出しました0～5歳の児童人口に過去3年間の就園率の伸びを基にいたしました令和3年3月就園率の見込を掛けまして令和2年の見込数が年度末で1,986人になると見込んでおります。それからその右側の令和3年度の推計値につきましても同様に計算いたしまして、令和4年3月入所希望者は2,025人になると推測しております。

次に②、入所率の推移。これは定員数に対する入所希望者数の割合でございますが、表の一番右側、令和3年4月の時点で111%、令和3年度末には128%を見込んでおります。入所希望年齢によりまして空きが無い場合もございますし、保育室の面積がクリアできても保育士が不足していると受け入れができないということもありますので、毎月入所希望者が増えて保育士確保が難しい現状では、待機児童は今後も増えるの見込んでおります。

以上のことから3の今後の取組といたしまして、3点あげています。1つ目は保育士の確保策の実施でございます。保育士の負担軽減といたしまして、保育体制強化事業として1施設最大月10万円の補助を継続することで保育士の方の負担軽減を図ります。それから2つ目は、保育士の処遇改善の検討でございます。総社市では年間2万円の総社市保育士支援金制度を継続して実施いたします。ですが、倉敷・岡山の処遇改善の方が良いので、総社市としても新たな施策を講じる必要があると考えております。それから3つ目は、幼稚園の預かり保育の活用です。今年度から三須幼稚園でも預かり保育を開始しました。それから、山手幼稚園では早朝預かり、中央の常盤・総社の幼稚園では定員を増やしています。3歳以上の受け皿を幼稚園が担うことによって、保育園の3歳未満の定員枠を広げることができることから待機児童対策として有効であると考えています。参考までに令和2年度の保育所に入れなかった子どもたちを幼稚園の方に12園で42名ご案内することができました。引き続き、これからも3歳以上の入所希望者には、幼稚園の方もご案内していこうと思っています。以上でございます。

**山中教育長** ご質問があればお願いいたします。

**上岡委員** 保育士確保の策なんですけど、保育士協議会とかはどうなっているんですか。保育士養成協議会でしたかね、何とか協議会というのがありましたよね。

**小野こども夢づくり課長** 保育士を確保するための。

**上岡委員** いやいや、総社市の。

**小野こども夢づくり課長** 保育協議会。

**上岡委員** そこでは、どんな話になっているんですかね。保育士確保について、何か共通のテーマで話し合いをされているんですかね。何か方向性を見出したりしているんですかね。

**小野こども夢づくり課長** 保育協議会の理事会に毎回お邪魔して保育士不足の件も話し合ってもらっていますが、中々どの園も募集しても集まらないというのが現状で、悩みどころだということをお伺いしております。具体的には、保育士の方も処遇を改善して欲しいという要望を市の方にされておまして、岡山に園を持っていらっしゃる園もございまして、岡山の処遇の良さを凄く言われますので、総社の年間2万円では少ないのではないかとというようなご意見もいただいておりますので、これからも財政との協議もありますけれども、強く訴えていきたいと思っております。

**上岡委員** そうですね、やっぱり待遇が良くなければ駄目ですよ。すみれだけかな、岡山にもあるのは。

**小野こども夢づくり課長** すみれが第3、ひかりが第4が岡山にあります。

**上岡委員** ああ、そうか。ひかりもありますね。それは、何回かお話ししましたが、総社の賃金と倉敷・岡山は違うんで、まずそこを最低限だけでも揃えてもらわないと来ません。何回も言いますが、その認識がない限りは、それは無理でしょう。

**山中教育長** 市長は良く分かっています。

**上岡委員** 分かっているんですか。

**山中教育長** 財政難で大変なんです。倉敷と岡山と比べますとね、財政比率が大体自前でやれるのは60%弱です。

**服部教育部長** 財政力指数の話ですね。要は自分のところの税収とかで賄われているかというのがありまして一つの指標なんです。総社市は0.6少々くらいです。かつての倉敷市なんかは非常に法人税が豊富なので1.0を超えていたような時もあります。要は交付税を貰わなくてもやっていけるよというような時代もあったんですけど、今は大分厳しくなっております。0.6というのは比較的まだ、全国で言うと、まだまともな数字でありまして、なので交付税が十分貰えないということもありますし、ただ十分にやっているかと言うと4割は国・県頼みということもありますので、正直苦しい財政力というのはあります。

**上岡委員** そうですね。

**山中教育長** よろしいでしょうか。

**林教育長職務代理者** 令和3年度末が128%ということで、非常に良くないのではないのかなあということで、いつも思うんですけどね。そこは、やはり何とか改善しないといけないところは、やはり考えていかないといけない部分だと思います。0歳～2歳がやはり待機児童ではないんですけども行きたいけど行き場が無いというところですね。それで小規模園があるんですけども、そこは結局3歳になったら出て行かないといけないので、そうすると保護者としては、そこで宙ぶらりになるよりも最初から、0歳からどこかへ入れて6歳までというふうな意味合いが強いのかなあということに思います。だから恐らく待機児童という数が0～2が多いのではないかなあと思うんですけども。そうした時にスムーズな連携がとれないから中々難しい。何か良い方法って無いんですか。小規模園に0～2歳まで行っておいて3歳になったらこっちの方向でちゃんと受け入れますからと。その辺は何

か良いアイデアがありますか。

**小野こども夢づくり課長** 小規模園につきましては、一応、3歳の時に次の連携園というのを決めています。セレーノ保育園だったら第2すずらんとか、さくら保育園だったらみどり保育園というように連携園が決まっているので、そこを選んでいただいた方には入所の際の点数を加点していますので、なるべく優先的に連携園に3歳になったら繋がるように、そこは配慮するようにしているところです。保護者的には0～5歳まで保障されている方が良いんですけども、今、定員が一杯一杯ですので、そこは連携にスムーズに繋げていけるようにご案内をしていこうというふうに頑張っています。

**林教育長職務代理人** 上手くいけばいいけど。まあ難しい気はしますけど。

**山中教育長** 段々少子化で就園率が増えているわけですよ無料になり、それで待機児童が結構出てくると、そういうことも背景にあると思いますね。それと幼稚園は、お昼に給食がない。これも一つネックだとは思うんですけど。

**林教育長職務代理人** 幼稚園は良いと思うんですけどね。

**山中教育長** 良いと思いますよ。

**林教育長職務代理人** 良い教育機関でもあるし、もう少しアピールをして。ただ、教育長が言われるように給食が無いから、そここのところに親の負担があるというところが気にされて。まあ送り迎えとか役員とか様々なものがあって、その辺がどうなのかということを思いますけど。それでも、良さというのがあるわけで、そここのところをもう少しアピールしても良いのかなあと思うんですけどもね。

**上岡委員** 林先生、幼稚園へ3歳から行っているんですよ。学校ですから休校って言ったら、今、休校なんですよ。幼稚園に行っていないわけです。それでも我慢出来る家庭でないと難しいと思いますね。保育所はやってくれるでしょ。

**林教育長職務代理人** 預かりでやってくれていますよ。

**上岡委員** やってくれるけど3歳のちょっと上までで、出来るだけ4歳5歳をと。手が掛かるからかな。

**林教育長職務代理人** それはあるのですかね。3歳から預かりも始めたよね。

**小野こども夢づくり課長** はい。

**上岡委員** 始めたんだけど、できるだけねえ。

**小野こども夢づくり課長** 言われていますか。

**上岡委員** できるだけねえ。

**小野こども夢づくり課長** 今、緊急もやっていますので。是非、預けていただいても。

**上岡委員** 多分3歳の方が講師の先生かな。

**小野こども夢づくり課長** 一人、講師です。

**上岡委員** そういう関係で言っているんじゃないかと。負担が掛かるから。そういう気がしたんですけど。構いませんよとは言われますけど、何か一言、言われましたよ。できれば3歳はって。

**小野こども夢づくり課長** 2人しか来られていないと思うので。

**上岡委員** そういう地区だから持つので全然良いですけど、街中ではそういうわけにはいかないでしょう。やっぱり幼稚園はそれがあるからねえ。保育所のようにはいかないからね。確かに質の高い教育は受けられるのだけど保育所のようにというわけではないよ。見てくれる時間とか何か不安なんですよね。そこだけですよ。

**小野こども夢づくり課長** 預かりを見直していただいて、先生たちは物凄く勉強されていますし、質の高い教育をされています。

**上岡委員** 分かっています。ただ林先生が言われたように市民にちゃんと伝わっているかなあとということなんですよね、そこがね。

**小野こども夢づくり課長** 伝えていこうと思います。

**上岡委員** はい。

**山中教育長** ほかに、ご意見はなかったでしょうか。よろしいでしょうか。

(質疑なし)

**山中教育長** それでは、学校の再開に向けて5月7日・8日。井上課長、お願いします。

**井上学校教育課長** A4カラー刷りの(案)ということでお示しをいたしました。今、臨時休業期間中。緊急非常事態宣言を受けての5月6日までの臨時休業ですが、今、中学校長・小学校長を含め、私ども事務局でも5月7日からの学校再開に向けて、どのような形が可能なのかということ、あくまでも案で検討しているところです。これが、今後は総合教育会議また総合教育会議の後の教育委員会の会議の中で正式決定に至ると思うんですが、今現在、総社市、岡山県の現状から、これくらいということで案をお示しをしています。まず、5月7日・8日につきましては、目指していたのは学校再開・給食ありということなんです、こちらにお示ししているのは分散しての登校ということです。中学生については、東中・西中の大規模校についてはグループ別・学年別の登校で給食なし、午前・午後に分けて2日間来るという形です。小学生については、これも分散登校と。大規模校・中規模校は地区別の登校で2日の内いずれか1日、小規模校は2日で給食なし。午前中のみで実施を考えております。9日・10日の休みを経て今度は5月11日からは、これまでと違った形を、今、案として考えております。それは、黄色い赤文字のところ。中学3年生については高校入試も控えている中、今、十分な授業日・学習内容の提供ができていない状況にあります。中3については11日からは毎日登校して3密を避けた中で20人程度で授業ができないかと。ただし、給食を食べるという行為についてはリスクを避けるという意味で給食なし、午前中授業というふうに考えております。中1・中2については分散登校で週1日、それから小学1年生から6年生につきましても分散登校で週1日。大規模・中規模、小学校も規模で大きな差がありますので、7つの小学校については地区別登校で分散、20人程度で授業、同じく給食なしの午前中授業としています。そこに細長い四角で示しているのは従来案であります。今、ご説明申し上げたことが、下の今後の見通し①～④に書いてあるものであります。⑤⑥については中学校区と中学校区において小学校と中学校の登校日について情報連携を

しっかり取りましょうということ、それから今現在、小学校において緊急受入児童クラブで小1から小3の家庭の養育者がいない子どもについては受入をしていますが、これについては臨時休業中も実施をするということでもあります。この取り組みを、当然、市や国や県の動きを睨みながら取り組んでいくんですが、今後の見通しとしては、まずは5月22日までの臨時休業期間中にこのような取り組みをと考えております。あくまでも現在案ということでお示しをいたしました。以上です。

**山中教育長** ご質問・ご意見があれば、よろしくお願いいたします。この学校再開については、4月30日14時に総合教育会議がありますので、そこで市長の思いを言われると思うんですけど、その後、教育委員会を開催して検討したいと思っております。では、よろしくお願いいたします。

**井上学校教育課長** この週1日の分散登校と合わせてなんですけど、今、市内の小中学校の先生方と私どもとで協力して授業の動画を作ってポータルサイトという形で、子どもたちがICTを使ってそこへアクセスすれば、5分程度の授業をまとめた動画を観ることができる、そういったサイトを立ち上げようとしています。今、試験運用中で5月1日の本格運用を目指しているところです。この週1日の登校と、家庭に帰ればICTを活用した授業を行うことができ、家庭と学校とで学習のリズムを作っていきたいと。休業期間中の子どもたちの学びをサポートしていく体制を作っていきたいと考えております。以上です。

**林教育長職務代理者** 今度、総合教育会議で議論をすることになっているんですけど、その時でも良いんですけど、結局、今の子どもたちは一体どんな生活を送っているのかというふうなところを大体は掴んでおかないと議論にならないなあと思うんですけど。ですから、どこかの小学校でも抜粋して、たまたま来た子どもも良いですから何か掴むところを。確か、一時預かりじゃないですけどやっているとあるので、その子たちでも良い。何かあったら良いのになあと思います。ですから恐らく色々なことでストレスも溜まったり、家庭の今までの生活習慣というものが全然駄目になっていっているとか、せっかく築き上げたものをこれによってやはり失われてきているというものがもしあれば、そういったところもやっていく必要もあるんじゃないかと。これも再開に向けて家庭との連携で、家庭に対して学校はこうとかいう形で、何かやっても良いんじゃないかと思います。それから中3が学力の面で非常に不安なので毎日登校という形になっていますが、中3の子どもたちというのはどうなんですか、塾とか家庭教師に走るとか、そういうふうなことは無いんですか。東中なんかどうなんですかね。

**久山次期教育長** 私が発言してもよろしいでしょうか。

**山中教育長** はい。

**久山次期教育長** かなり行っていると思います。実際に一部聞きますと、かなり3密の状態で行っている塾も危険なんじゃないかということも聞くんですが、ただ学校がこういう状態ですから余計に子どもによっては時間数を増やしてでも学力を付けていこうという動きはあるようです。全体の話ではないですけどね。一部聞くところによると、そういう状況

にあるようです。それから、新しいところに入っていないので。やっぱりコロナで学習事項の1・2年生の復習というところが中心になりますので、どうしても新しい3年生の部分というのは休校が続けば続くほど色々遅れていくということになります。一部の塾では先に進んでいるところもあると思いますが、それはごく一部の話だと思います。全体としては2割程度です。

**林教育長職務代理者** 学力は経済的な格差と連動しているようなところもあって、それが余計に開いていっているんじゃないかということもあって、その辺を何とかしてあげないと可哀想だと。

**山中教育長** 中学校の保護者とヒヤリングはしたんですけどね。そうすると95%とかやって欲しいですと、だから、こういう格好で。市長も一応了解はしているので。給食を入れるかどうかはちょっと微妙ですけども。高校受験ですからね。一箇月くらいを取り戻すには、夏休みを短縮し授業をすればOKですが、もうギリギリのコンディションだと思います。市長にも申し上げたんですが、中学校3年生はやろうということですよ。後については、今の状態では7~8割くらいが、学校区によって違いますけれど、登校はさせて欲しい、勉強はさせて欲しいというのがあります。給食は半々ですけど。まあ、そんなコンディションですね。もう1週間経つと、岡山県で感染者が出なかったらもうちょっと良くなってくるんじゃないかと思いますけどね。出たら一気に保護者の思いも変わっていくので。ただ中学校3年生のところだけはやりたいと思っていますけどね。

**児島委員** 私学はネット授業やっていますよね。

**山中教育長** やっています。だから、そういうところで保護者が焦っているんですよ。もう、これ以上延ばしたら駄目だと。色んな話聞きますけどね。

**児島委員** 高学年は親が居なくてもできるけど、低学年は親が居ないとできないよね。

**山中教育長** できません。

**上岡委員** 個人的にはね。毎日全員登校は難しいと個人的には思います。中1・2年と小学校が週1回でしょう。命の事を考えたら教育長さんが、今、言われたように、この後、県の発症率がどうなのかに係わって来るとは思うんですけど、あまり変わらなかつたり微増でもしていたら毎日というのはどうなのかという感じがしますね。週2日か3日とかですね。まあ5日の内3日と言ったら同じじゃないかと言うかも分かりませんが。でも毎日命の重さを考えたらどうなんでしょうかね。

**林教育長職務代理者** いつまで続くかということを考えたら。専門家が居るからあれなんですけど、ひょっとしたら1学期は覚悟しないといけないんじゃないかと思いますね。そんなところまで考えたりすることがあるんですけども、どうなんですかね、三宅先生。

**三宅委員** 一時的には治まるかもしれませんが、世界の状況を考えたらこの状態がずっと続くとは思いませんので、多分、止めると入って来ると思う。どこかの時点で共存していくとか。だから難しいですね。どんなふうにして自粛を外していくか難しい。どこの国でも困っていますよね。アメリカでも。やっぱり、これからは、コロナの前と後とは社会の



状況が随分変わって来るんだろうと思うし、3密とか言っていますけど授業とか行かないといけないし、皆で集まってするということも大切なことですし。医療の方も、今は特別ですけど、ここで本当になんというんですかね、市長に対しても言ったのですが、去年の4月の3週間と比べると、今年4月の3週間は感染者の報告が4割になっているんです。減っているんです。こんなことを言ったら皮肉なんですけど、人と人との接触が無くなって感染症は減りました。だけど、それによって子どもたちの肥満が増えたり、イライラが増えたり、精神的に落ち着かなくなったり、コロナということで凄く不安になったり、それから経済的に苦しくなったりと本当にそちらの方の問題もあるので、どこかで折り合いを付けていかないと、このまま続けることは非常に困難だと思うので、とにかく県内で感染者が出なかったら。すぐに再開するというのは、保護者の方も結構不安な方と全然心配ない方もいらっしゃるんですけど、色んな有名人が亡くなられて凄い身近な問題として不安に感じられている方が多いので、ちょっとすぐに再開ということも難しい。試運転しながらということになるのかなあとと思いますけれど。どうなんですかね、高校入試はちゃんと行われるんでしょうかね、そんな感じで。というところも、ちょっと心配で。

**上岡委員** 先生が言われたように、コロナ禍と言うんですかね。体の面と心の面と、それから勉強の面もあって、どこかで本当に折り合いを付けないといけないでしょうね。

**林教育長職務代理者** まさに知徳体。

**上岡委員** そうなんです。知徳体なんです。だけど、とは言っても、やっぱり命があつてのものなので、むやみに全部登校というわけには。どこかでしないといけないでしょうけど。ちょっと、まだ早いかなあという感じがしますね。それと学校教育課さんね、動画だけではなくて、この機に、お金が無いのは良く分かっているけどLIVE授業ができることも両方で進めないと。今年中だけでなく来年もやらないといけないことになったら、そうしたらどこかで、高学年だけでも作るとか、中学校だけでもLIVE授業が出来るとか。小学校は対面でやらないと、教育の温か味とか必要なんで。幼稚園も入るので幼稚園はどうするか書いてないですけど、そういうことも合わせて先生が言われたようにやらないと。ポータルサイトで5分で満足していたら駄目ですよ、先生。中学校にはちゃんとLIVE授業できるとかです。

**山中教育長** 動画配信しようと思うとね、凄い回線が要るんですよ。4～5億掛かるかなあ。それと、やっぱり家庭にパソコンのある人は大体9割くらい居るんですけど。

**上岡委員** Wi-Fiの問題もあるんですけど、でも少なくともタブレットでも配って環境作りからやるとか。あるところは配らなくても良いですけど。どこかに行けば、それが使えるとかということも考えてやって欲しいと。

**児島委員** 貸し出ししないと駄目だよ、貸し出しも考えないと。FM使っても良いんだよ。学校の先生がFMで言ってあげて、ラジオはどこまででも聞こえるからお父さんお母さんが居れば、おばあちゃんが居ればラジオ付けてあげてね。何かそういうことを考えて。総社市は秋葉山へ中継が出来ましたから、FMは全部聞けると思うんだけど。先生の声を流し

てあげるのも良いよね。

**上岡委員** それは良いことだと思いますね。

**三宅委員** 成人式で凄い盛り上がるじゃないですか、先生の動画で。だから授業だけではなくて、「元気か？」というような感じで電話でも何でも良いんですけど声を聞くとか。双方向にはならないかもしれないけれど、「どうしてる？」って感じで。リクエストでお手紙でもくれたら嬉しいと思いますけど。

**児島委員** 時間帯でそれぞれの学校の先生方がしゃべりかけると、先生の声が聞こえるって、やっぱり違うと思いますね。

**上岡委員** これ、このまま出されるんですか。

**山中教育長** これは、このままではない。今度30日の後の教育委員会で決めますので。一応これは、案です。

**上岡委員** 個人的には毎日登校のところが、それが引っ掛かります。

**服部教育部長** 失礼いたします。それぞれの家庭学習の支援、特にインターネットとかICTを活用したものであるというのは本当に基本的にはそれしかないと考えておまして、今、動画の準備をしております。ただ、これはオンラインということではなくてLIVEではないので。それからFMとかテレビの地上波を利用してとかいうのは全国でも色々試みがあります。インターネットの通信環境とかパソコンが無いというご家庭が何割かはどうしてもありますので、その部分を埋めるためにもGIGAスクールをちょうど始めるころでしたので、1人1台体制というものを6月の補正で3億くらいの予算を積み込んで、前倒しでパソコンを6,000台調達しようと考えておりますが、現状では100台のパソコンを買うにも8月くらいになりますと言われております。そういったサプライチェーンが機能しておりませんので、日本中の中学生・小学生って930万人おまして、どこの自治体も一斉にGIGAを取り組むと930万台パソコンがいきなり調達できるかという絶対無理です。なので、少しでも前倒しで家庭環境、これから動画配信とかするんですけど、家庭環境の無い児童生徒たちに少しでも貸し出しとか、今、学校のOA教室にあるものが使えないとか色々工夫しております。先程のFMの棒を買い取ってとか、地上波のローカル局の30分番組を使えないとか、ケーブルテレビも契約がありますが加入が4割しか無いので、色々工夫して何とか学校の現場としては子どもたちと繋がりを作りたい、学びを届けたいというふうにもがいております。時間も無い中で何ができるかということで、できる事だけをとりあえず十分じゃないかもしれないけどやっ払いこうというのが、ここ2週間くらいの取り組みになっております。本当に色々貴重なご意見をいただいて、特に家庭での学習支援のICT系というのは、動画とかコンテンツにつきましても学校の方が休業の状況によりますけれども1年間かけて色々なものを積み上げて育てていこうと思っております。そのための補正予算につきましても1,000万円くらいの単位で今月28日に臨時議会がございます。その中へ盛り込ませていただこうと思っておりますし、当面の補正予算のお話に移りますけれども、1人10万円の給付というのが急遽決まりました、総社市でも70億の数字になります

が、こういった予算ですとか。後これはオリジナルですけれども、水道料金を7月までは全て減免しようと、これも3億くらいの収入が無くなるんですけれども、そういったことですか。後、飲食店とか観光業者への支援ということで、テイクアウトに使える商品券事業とか、国が経済対策でこれから打ち出して参りますのが6月の補正に盛り込んでいくものが多いんですけれども、当面の物、この月末の臨時議会で上程しようと用意しております。まだ数字は固まっておりませんので、今日は何もお示し出来ていないんですけれども、かなりの大きなボリュームで市としては全体のコロナ対策ということで取り組んでおります。経済対策と医療とか公衆衛生の部分、それから学校、教育の部分というふうに3本立てで対策会議があるとよく取り上げられまして。学校につきましては、ご支援いただいたりご提案いただいたりして何とか休業中の学習保障をやっていこうということがメインでありますけれども。医療につきましては、例えば相談窓口というのは備中保健所がメインなんですけれども、実は総社でも協力出来ないかということで三宅先生もメンバーに入っていて、そういった相談センター、オンコールの対応を総社市でもやっていこうと。PCR検査にも協力を出来ないかということで進めていくようなところがございます。それから経済対策につきましては、先程申し上げましたようなものに加えて事業所へ100万円とか300万円とか諸々のものがこれから出て参りますので、関係するものをまた6月の議会へかけていくということになります。我々は学校とか保育所・幼稚園の様々な子どもの関係がメインになりますけれども、ちょっと歯がゆいのが小中幼こども園については休校・休園に協力していただいています。ただ保育所につきましては、厚生労働省は運営して欲しいとか3月の時点でありましたので、かたや小学校のお兄ちゃんも休みなんだけれども保育所とかへ通っているようなお子さんは保育所へというようなことがありました。今月に入りまして、さすがに保育所も安全が担保できなくなってきたということであるべく自粛、ご家庭での保育をお願い出来ないかということは何回も協力の依頼をしている状況でございます。すみません、個人的な話になりますけれども、学校とかの休校は補償補填のコストが掛からないので子どもには非常に不利になるんですけれども、経済的な事業所を閉めたら保障しないといけないということがおこらないので簡単に判断されているような気がいたします。でも、大きな犠牲は子どもたちにかかっているんですけれども、なので学校だけが先に先に制限されて、実際の外出自粛とか事業所の勤務の削減とかというのが、ちょっとアンバランスな気がいたします。保育所なんかも本当に現場の先生方は危ないからどうしようかな、3密が中々解消できないからどうしようかなとあるんですけれども、お母さん方は仕事はどうしてもあるからということで保育所の需要が高いです。ただ、その事業所自体も医療関係とか公安関係とか流通関係とかいうのは、今、忙しいですので必要かと思うんですけれども、何か市の発信の仕方もちょっと十分でないのかもしれませんが、全体で感染を抑えないといけない、医療の崩壊を抑えないといけないという目標に、ちぐはぐなところがあって、我々としては教育のところだけ先に先にしわ寄せが来ているなあというのが少し残念でもあるんですけれども。学校の現場としまして、精一杯、今、やらせていただいているので、色々

なご意見をいただければと思っております。ちょっと話がそれましてすみません。

**児島委員** 私の息子たちの時代は子どもたちが4～5人で色んなところで遊び回っていましたが、最近そういう子どもたちが増えているんでしょうね、3～4人で自転車に乗ったり歩いてあちこちしたりとか。僕は、それだけでもね、そういう子どもたちがもっともっと増えれば良いと思って見ているんですけど。「今日どうしたの？」と声を掛けたらお家いたら面白くないからと、友達といたら楽しいからと。今、この状態で総社市内で結局自然の中でウロウロしている分には雇わないよね、居ないわけだから。そういうことも含めて子どもたちに奨励したら良いんじゃないかなと思うんですけど。

**服部教育部長** 当然、家庭での過ごし方とか適度な運動とか本当に子どもには必要と思いますが、この辺りでも子どもが休みなのでしょうかないと思っております。マスクをしていないとか公園でたくさん集まっているとかいう声をいただきます。不安不安という方もいらっしゃるし、その辺りは全てここへクレームが入ってしまっていて、そういった見方をされる方も実際いらっしゃいます。

**上岡委員** それはしょうがないでしょう。意識がテレビとかの情報で怖いという気持ちがあるから、どうなっているんだと、それは分かります。幼稚園はどうしたの、学校と言ったら幼稚園も入るのですけれどね。幼稚園のことも入れて欲しいですよね。幼稚園だけはどうするのという話で。今、ずっと休校になっていますよね。

**小野こども夢づくり課長** 学校に準じて。

**上岡委員** 預かりはして下さっている。

**小野こども夢づくり課長** はい。

**上岡委員** やっぱり兄弟が居るわけですよ、幼稚園と小学校へおって、同じ学校でね。親には学校という概念は無いから。幼稚園なんだ、小学校なんだと。でも括りは学校なので、やっぱり難しいですね。やっぱり学校としては同じような足並みにしてやって欲しいという気がします。勉強だから来るんじゃないかって、小さい子だからこそ人との関わりが必要なんじゃないですかね。関わりがあって5つまでは学んで人間性を育てるわけでしょう。それを、ずっと休ませていて良いのかという話です。僕は逆だと思えますよ、重きから言えば。人格の基礎を養うのは幼児期です。そういう面も考えて、勉強勉強だけではなくて、そういう面も考えて先生が言われたけど幼稚園も行って欲しいと思えますね。

**山中教育長** よろしいでしょうか。

(質疑なし)

**山中教育長** 他に報告はありませんでしょうか。

**浅野教育総務課長** 先ほどの保育所入所状況の今後の見通しの後に名簿等を付けさせていただきます。教育委員会事務局の課長級以上の名簿ですとか、令和2年度の学校医・歯科医・眼科医等の名簿一覧表を小中学校それから幼稚園・こども園の一覧をお付けしております。昨年と比べましたら幼稚園・こども園の中で薬剤師、常盤幼稚園の見上先生が今年から新しくなられているようで、昨年までは広沢先生でしたが変更点はその1名の先生だ

けでございました。その後には小中学校の校長・副校長・教頭名簿，それから幼稚園・こども園の一覧，それから私立保育園の一覧，それから児童生徒数の一覧，幼稚園の園児数と一覧をお付けしておりますので，またご覧いただけたらと思います。以上でございます。

**山中教育長** よろしいでしょうか。

(質疑なし)

**山中教育長** それでは，次回の教育委員会の日程についてですが，臨時教育委員会を4月30日(木)に「そうじゃ総合教育会議」の後に開催いたします。「そうじゃ総合教育会議」は午後2時から3階の大会議室で開催されます。その後の教育委員会は2階の保健指導室を予定しております。

また，定例会につきましては，既にご承知のとおり5月25日(月)に教養研修室で開催いたしますので，ご参集願います。なお，時間につきましては，午後2時または午後3時から調整しておりますので，よろしく願います。

次に，6月の教育委員会の日程を調整したいと思いますので，事務局から提案願います。

\*\*\* 6月の教育委員会について日程調整\*\*\*

**山中教育長** 6月の教育委員会は，6月23日(火)午後2時から開催いたします。

それでは，これで審議がすべて終了いたしましたので，本日の教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

【閉会 午後3時35分】